

日向市小中学校における新しい生活様式

登下校時の対応

- 家庭で毎朝検温し、その結果をカードに記入し、提出する。
- 登校前に検温できなかった場合は、登校後に保健室等で検温し、記録する。
- 発熱や風邪の症状がある時は、無理をせず、自宅で休養する。
- 登下校時は症状がなくても通常マスクを着用する。
- 登校したら、教室に入る前に30秒程度かけて、水と石けんで手を洗う。
- 帰宅した時も、家庭で30秒程度かけて、水と石けんで手を洗う。

学校生活・授業時の対応

- 校内では症状がなくても通常マスクを着用する。
- 毎時間、授業開始時に担当教師は健康確認を行う。
- 休み時間はもちろん、授業中も教室の換気をこまめに行う。
- 空調を使用する時は、気候上、可能なかぎり2方向の窓を常時15cmほど開けて使用する。
- 教室内の座席や集会等の整列時など可能な限り間隔を空け、児童生徒の身体的距離の確保を行う。
- 学校内の活動については、グループ活動などの対面的な形態をとらず、新しい学習や活動の進め方を取り入れながら実施する。
- 器具・教材及び多くの児童生徒が触れる箇所（ドアノブや手すり等）を定期的に消毒する。

給食時の対応

- 給食前は、手洗いや消毒を行う。
- 給食時の座席は、対面ではなく一方向を向く並びとする。
- 一学級あたりの児童生徒数が多い場合は、特別教室等を活用するなど、可能な限り食事場所を分散させる工夫をする。

部活動時の対応

- 部活動の開始時には、部顧問が健康状態を確認する。
- 使用した用具や物品は定期的に消毒する。
- 楽器等の唾液の適切な処理を行うとともに、器具や物品等の衛生管理を随時行う。
- 補食や水分補給の際は、他人との距離に配慮するとともに、タオル、コップ等の共用を避ける。
- 室内での部活動においては、こまめに換気を行うとともに、生徒間の間隔を十分にとる。
- 生徒だけに任せず、教師等が部活動の実施状況等を把握する。

当面の間の留意事項

- 1回の部活動の時間は、更衣・準備・片付け等を含めて2時間以内とする。
- 身体接触を伴う活動や飛沫感染のおそれがある活動は行わない。
- 対外試合や招待、交流等を行わない。